

事務事業名	給水支援活動事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	22 終了		
H29作成課等名	経営管理課	H29係等名	庶務係	H28担当課等名	経営管理課			
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
	施策	45	居住基盤の向上					
目的	対象(誰・何を)	水道緊急時における災害等の被災者			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	避難所生活者への給水支援				飯田市給水区域の住民	101116	
	向上させたい上位施策の成果指標	水道普及率(%)						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	給水支援活動の活動回数(延べ回数)		-	-	-	4	
	成果指標	給水支援活動に携わる職員数(延べ人数)		-	-	-	8	
定性目標								
事業概要	地震や異常気象、事故等の非常事態に発生が予想される水道関係施設の災害に対応するため、日頃から危機管理体制を強化し有事の際の被災者支援に備える。 水道緊急時マニュアルの整備、定期的な訓練の実施などを進める。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 水道緊急時対応のマニュアルの見直し			1 検討回数		1 4回		
	2 緊急時対応訓練の実施			2 実施回数		2 1回		
	3 災害時における給水支援活動			3 活動回数、従事職員数		3 4回 8人		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		256	300	192	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		256	300	192				
人件費計(千円)②		179	179	179	0			
正規職員所要時間		50	50	50				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		435	479	371	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	優先業務の見直し、参集状況の見直しなどマニュアルの見直しを4回行った。 阿智村(原水濁度高)と駒ヶ根市(灯油混入事故)へそれぞれ2日間、給水車を派遣し、給水活動を行った。 熊本地震の際は、県水道協会からの要請で、給水車派遣の準備を行った。(現地の状況が改善したため、派遣は中止となっている)							
改革改善の考え方	①問題点	災害発生直後に対応する人員及び必要な資機材等が不足する可能性があること。 資機材の確認や補充を定期的に行う必要があるが、人員や予算等の関係で疎かになりがちであること。						
	②改革提案	他部署の職員、市民等からの応援体制の構築について研究する。また、他市町村等へ要請する応援の内容について研究する。						